

I 災害医療対策について

健康危機対策課

災害医療対策の概要

- 船橋市では医療関係者や市民代表で構成される「船橋市地域災害医療対策会議」で、発災後48時間以内の医療対策について検討し、令和2年4月から以下のとおりとしている。
 - ①市内で震度6弱以上を観測した場合には、市内の災害医療協力病院前（市内の二次救急病院前）に病院前救護所（市内9ヶ所）を設置する。
 - ②病院前救護所では、参集した医療関係者が、トリアージ（重症度の判別）と軽症者の治療を行う。
 - ③災害医療協力院内では、中等症・重症者の専門的治療を行う。
 - ④市が保健福祉センターに設置する災害医療対策本部では、災害時の医療提供の調整を行う。

今年度の実施内容①

I 訓練の実施

①病院前救護所設置・運営訓練の実施（9月～11月）

（青山病院、船橋総合病院、セコメディック病院、
北習志野花輪病院にて P6-37ページ参照）

※本訓練は平成30年度より始めたが、令和5年11月を
もって全災害医療協力病院（9カ所）で一巡目の訓練
を終えた

②総合防災訓練（災害医療対策本部）の実施（11月）

（P38-45ページ参照）

③災害医療対策本部運営訓練（1月）

（P46ページ参照）

今年度の実施内容②

Ⅱ 会議等の開催

- ①災害医療協力病院及び保健所意見交換会（6月）
（P47-48ページ参照）
- ②地域災害医療対策会議作業部会の開催（7月、12月）
（P49ページ参照）
- ③船橋市地域災害医療対策会議の開催（2月開催予定）
（P50ページ参照）

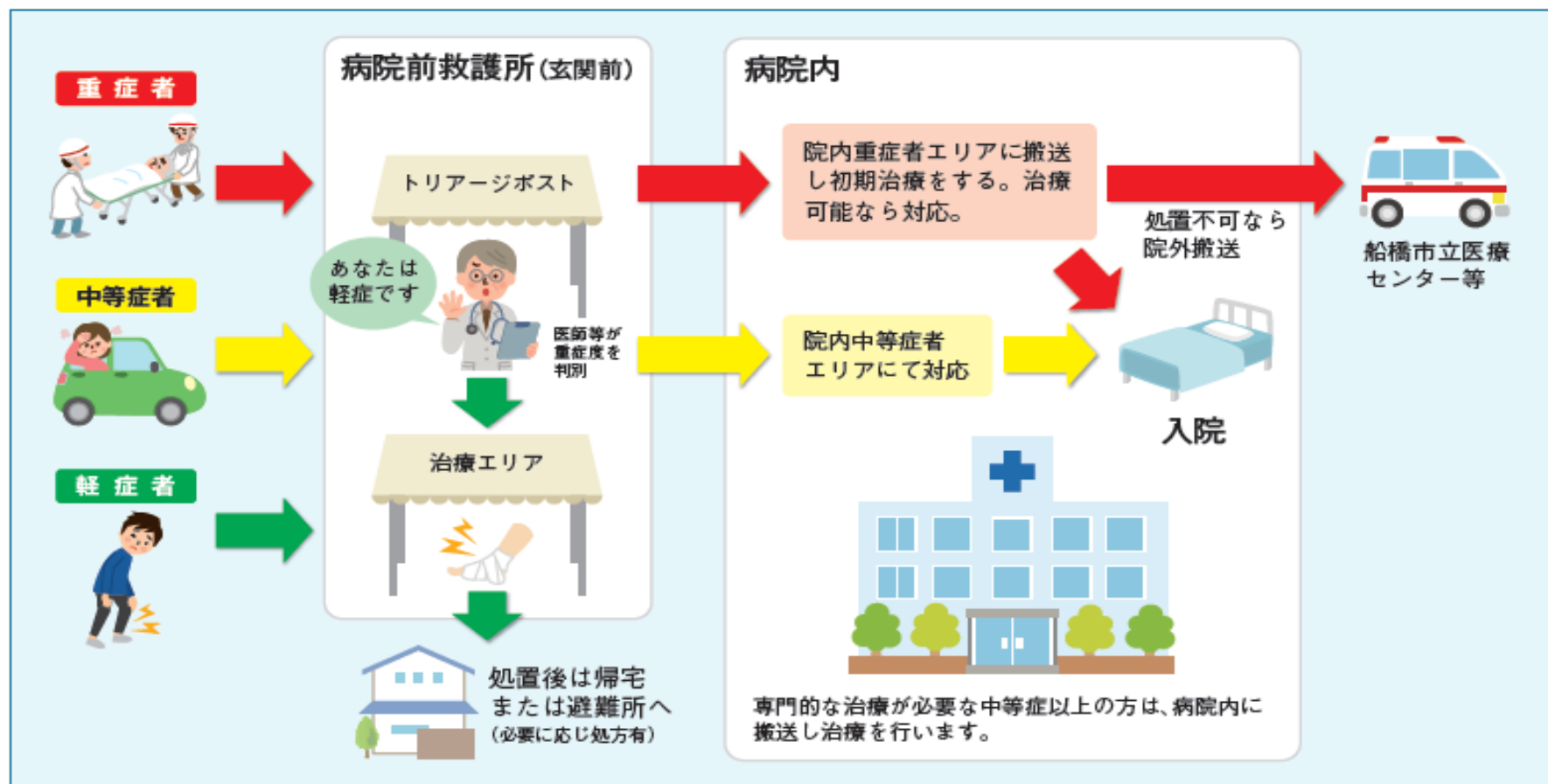
今年度の実施内容③

Ⅲ マニュアルの作成等

- ① 「船橋市の災害医療対策（ハンドブック）（案）」の作成
船橋市地域災害医療対策会議作業部会にて、ご議論いただいた内容を参考とし、初版を作成中。
- ② 「船橋市の災害医療対策（アクションカード）（案）」の作成
船橋市の災害医療対策（ハンドブック）（案）を基に工程別の活動内容を作成中。

病院前救護所での流れ

服薬している方は、**お薬手帳をお持ちください**。病院前救護所で処方するお薬を迅速に確認し、対応できます。
(手帳が見当たらない場合は、お薬の名称を言っていただくことでも対応できます。)



トリアージの方法

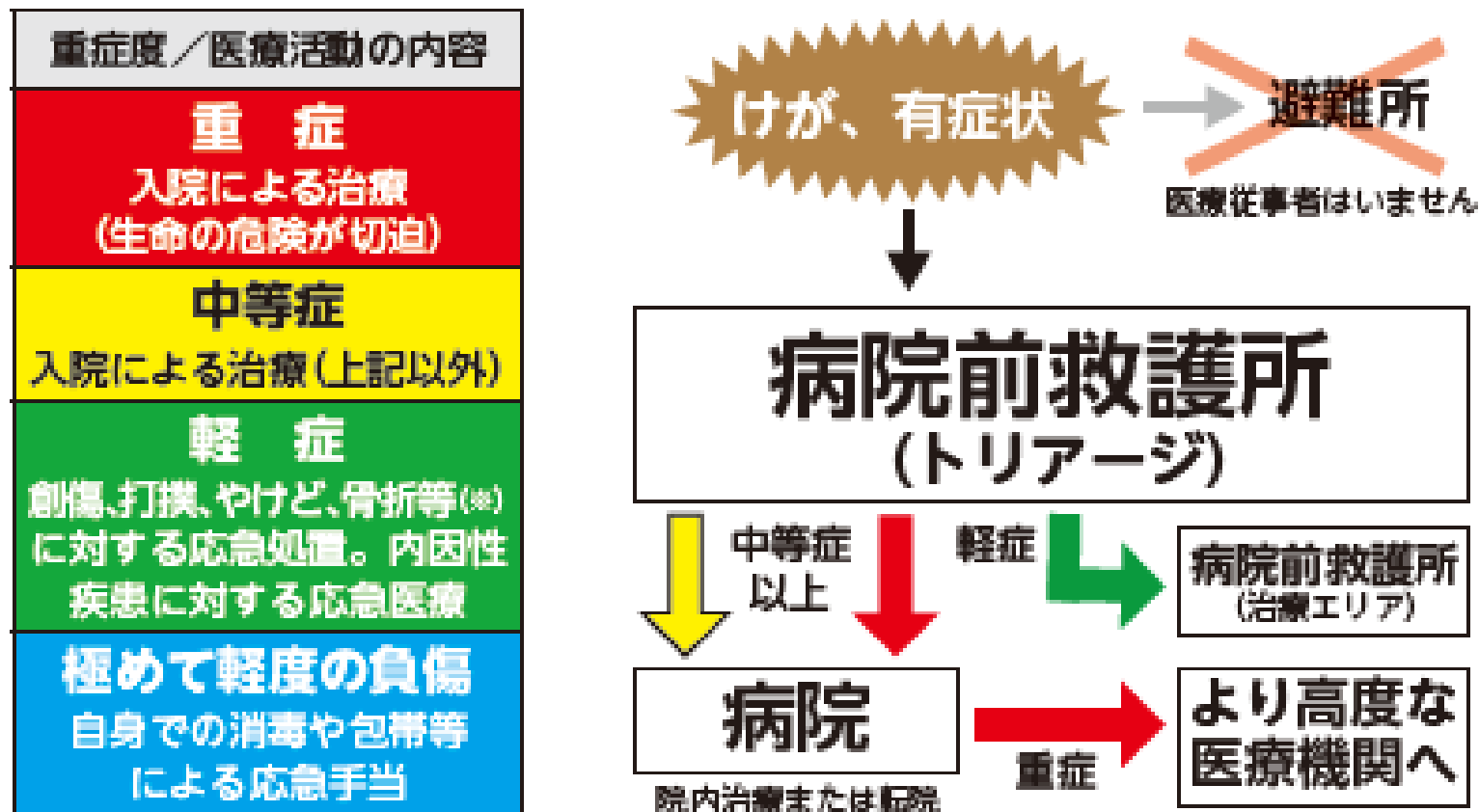
START式 トリアージ



I 訓練の実施

トリアージ区分

トリアージとは、傷病者の重症度を判別し、治療の優先順位を決めることで、市では下表のとおりに定めています。



(※) 平時であれば骨折等は病院での治療になりますが、災害時には骨折していても歩いて、生命の危険がない場合には軽症として対応することになります

I 訓練の実施

船橋市 病院前救護所 MAP

千葉徳洲会病院 高橋台2丁目11番1号



船橋総合病院 北本町1丁目13番1号



船橋中央病院 海神6丁目13番10号



船橋二和病院 二和東5丁目1番1号



セコメディック病院 船橋市696番地1



東船橋病院 高橋台4丁目28番1号



北習志野花輪病院 習志野2丁目71番10号



青山病院 市場4丁目21番8号



板倉病院 本町2丁目10番1号



お近くの**病院前救護所**
をご確認ください。

※船橋市立医療センターは病院前救護所設置病院
での治療が困難な場合に対応します。

①病院前救護所設置・運営訓練の実施

(1)青山病院前救護所設置・運営訓練

日時 令和5年9月16日（土）
 午後2時～3時30分

参加者 青山病院スタッフ：21人
 医師会、薬剤師会、
 千葉県柔道整復師会：計8人
 市内災害医療協力病院：10人
 船橋市職員：25人

訓練での目標

- トリアージポストを設置し、トリアージを実施する事ができる
- トリアージタグを正しく記入することが出来る
- 緑エリア、黄エリア、赤エリアを設定し患者を受入れる

青山病院①

トリアージポストの設置



青山病院②

搬送の様子

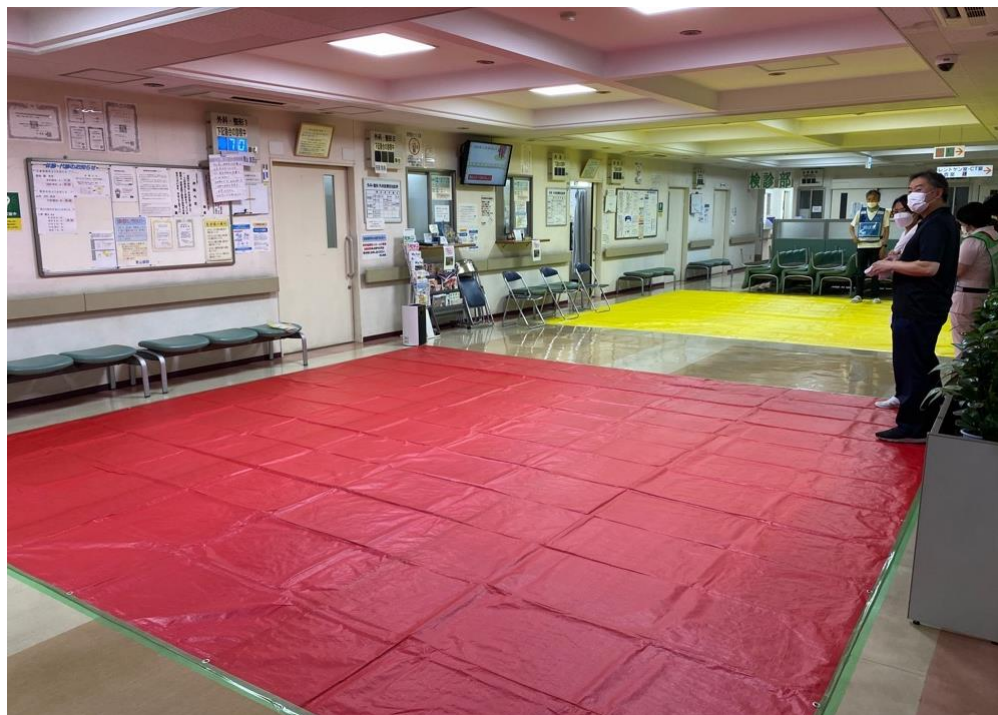


指揮所の様子



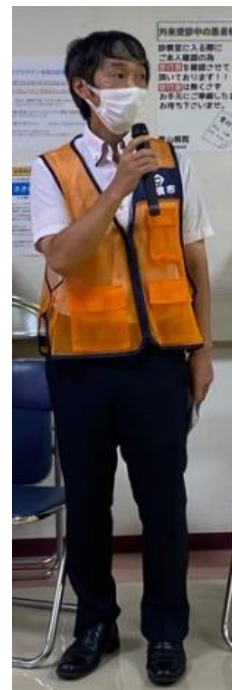
青山病院③

赤・黄エリア



青山病院④

講評（梶原医師会理事、寺田医師会長、筒井保健所長、
西水副市長、青山理事長）



青山病院⑤ 訓練の振り返り

- 第1回目の訓練でハードルが高かったが、目標としていた、トリアージの実施、各エリアの受入れについてイメージできた。
- 災害時をイメージし、多くの緑患者を捌く対応する訓練が必要と感じた。
- 保健所でも作成しているジョブアクションカードがあれば災害時に誰が参集しても対応しやすいと思う。
- 街中にある病院であり、多くの患者が殺到することが想定されるが、災害は季節を選べないので、患者の待機スペースや患者の動線確保が必要と感じた。

(2)船橋総合病院前救護所設置・運営訓練

日時 令和5年10月8日(日)
午後2時～3時30分

参加者 船橋総合病院スタッフ：43人
医師会、薬剤師会、
千葉県柔道整復師会：計8人
市内災害医療協力病院：7人
船橋市職員：41人

訓練での目標

- 模擬患者を1例ずつ順番にトリアージし、適切に傷病者を振り分け、トリアージタグに必要事項を漏れなく記載する
- 黄、赤エリアを設定し、各エリアに搬送する
- 緑エリアを設定し、治療から災害用処方箋を渡す流れを確認する

船橋総合病院①

トリアージの実施



船橋総合病院②

搬送の様子



治療エリアの様子



船橋総合病院③

黄エリア



船橋総合病院④

講評（梶原医師会理事、寺田医師会長、筒井保健所長、
松戸市長、八田院長）



船橋総合病院⑤ 訓練の振り返り

- トリアージを実施し、各エリアにて受け入れる流れが把握できた。また、治療エリアから災害用処方箋を渡す流れについて理解できた。
- トリアージはスムーズに実施できたが、記入が追いつかないケースがあったため、トリアージ記入者を増やすことを検討したい。
- 災害時には想定外の事案が多く出ると思うため、対応するために、基本の流れを反復することが大切だと感じた。
- 訓練により、災害に対する意識が高まった。ステップアップをしながら継続し訓練を実施したい。

(3)セコメディック病院前救護所設置・運営訓練

日時 令和5年11月11日（土）
午後2時～3時35分

参加者 セコメディック病院スタッフ：44人
医師会、歯科医師会、薬剤師会、
千葉県柔道整復師会：計9人
市内災害医療協力病院：9人
船橋市職員：34人

訓練での目標

- 院内災害対策本部を立ち上げ、院内BCPに基づき、院内災害対策本部の指揮下で訓練を実施する。
- 院長からの病院前救護所設置の指示を受け、各エリアを訓練中に設置する。
- トリアージタグの記載、傷病者の振り分け及び搬送を12例実施する。
- 緑エリアでは傷病者の受入れ、診察及び処置を実施する。
- 黄・赤エリアでは傷病者の受入れ及び電子カルテでの管理等を実施する。
- 指揮所を設置し、参集者の受入れ及びトリアージ結果の集計等を実施する。また病院内の本部とも情報連携を行う。

セコメディック病院①

トリアージの実施



セコメディック病院②

搬送の様子



指揮所の様子



セコメディック病院③

赤エリア



セコメディック病院④

講評（梶原医師会理事、筒井保健所長、松戸市長、星院長）



セコメディック病院⑤ 訓練の振り返り

- トリアージ～搬送～治療を通して、改めて情報伝達の大切さを感じた。
- トリアージ者と記載者を分けて、多くの傷病者を選別できるようにしたい。
- 四師会、市職員に参加してもらい、関係者との連携を図ることができた。
- 実際に各エリアに物品を配置するところから経験することができ、イメージを深めることができた。
- 院内で策定したBCPを検証できる機会となった。

(4)北習志野花輪病院前救護所設置・運営訓練

日時 令和5年11月18日（土）
午後2時45分～4時30分

参加者 北習志野花輪病院スタッフ：75人
医師会、薬剤師会、
千葉県柔道整復師会：計10人
市内災害医療協力病院：5人
地域住民：8人
船橋市職員：41人

訓練での目標

- 訓練における数値目標や各エリアでの動きを全体で共有する。
- トリアージタグの記載、傷病者の振り分け及び搬送を実施する。
- 各エリアにおいて、傷病者の受入れ、診察及び処置を実施する。
- 指揮所を設置し、参集者の受入れ及びトリアージ結果の集計等を実施する。また病院内の本部とも情報連携を行う。

北習志野花輪病院①

トリアージの実施



北習志野花輪病院②

搬送の様子



指揮所の様子



北習志野花輪病院③

黄エリア



赤エリア



北習志野花輪病院④

講評（鶴田医師会理事、筒井保健所長、杉田副市長、
松戸市長、酒井副院長）



北習志野花輪病院⑤ 訓練の振り返り

- 緑エリアは災害時に多くの方が殺到すると思うので、何度も訓練を重ねて対応をできるようにしたい。
- 黒エリアでの親族の対応を行っていて、とても実践的に感じた。
- トリアージタグを記載するのが初めてだったので、実際に記載してみても1秒の重みを感じた。
- ストレッチャーを使用して患者を2階まで搬送したが、実際に搬送すると想像していたよりも人手が必要なことがわかった。
- 病院の災害対策本部として広域災害救急医療情報システム（EMIS）の入力を経験できたので、今後に役立てられると思う。

②総合防災訓練（災害医療対策本部）の実施

日時 令和5年11月26日（日）
午前9時～12時

場所 災害医療対策本部
（市保健福祉センター）
避難所
（金杉小学校）

参加者 船橋市職員：24人

訓練での目標

- 病院前救護所から災害拠点病院までの搬送に係る情報連携について、発災時に実際に使用するツールを用いた訓練を通じた流れの確認・検証を行う
- 医療的視点での行先候補の机上選定について、訓練を通じて流れの確認・検証を行う

訓練の概要

- ① 災害医療対策本部の設置
- ② 医療センターとの情報伝達訓練
 - ・ 災害医療協力病院から災害医療対策本部へ重症者の搬送要請
 - ・ 災害医療対策本部から医療センターへ受入要請
- ③ 避難所との情報伝達訓練
 - ・ 避難所からの受診要請（発災直後を想定）
 - 災害医療対策本部にて調整し対応を指示
 - ・ 避難所からの体調不良者（要配慮者）の対応依頼（発災1週間後を想定）
 - 災害医療対策本部から避難所へ保健師を派遣
 - 避難所で、模擬避難者への聞き取りを実施し報告後、対応決定
 - ・ 以上の内容について、MCA無線や、ハンドブックに記載している様式等を使用しながら、一部ブラインド型で実施した。

災害医療対策本部の設置

- 参集予定職員による、災害医療対策本部の設置を実施

災害医療対策本部の設置



医療センターとの情報伝達訓練

- 災害医療協力病院からトリアージ赤の搬送要請に応じ、医療センターへ受入れ調整を実施

災害医療協力病院より搬送の要請

災害医療対策本部でEMIS等で収集した医療機関情報



市内医療機関の状況 11/26 9:05現在

医療機関名	倒壊	電気	ガス	救急状況	赤	黄	緑	黒	受入
青山									
板倉									
花輪									
セコム									
徳洲会	○	○	○	開設					○
東船橋									
船総									
船中									
一和	○	○	○	開設					○
医セ	○			開設					○

EV脱出状況
○：被害なし
△：一部被害あり
×：被害あり

避難所からの受診要請（発災直後を想定）

- 金杉小学校から受診を希望されている方の情報を災害医療対策本部に伝え、本部ではその対応方法を検討し、検討結果を伝達した。

企画調整班長へ報告

方針決定後、保健活動支援班が対応



I 訓練の実施

避難所からの体調不良者の対応依頼 (発災1週間後を想定)

- 金杉小学校から避難生活をしていた方が体調不良との情報を受け、災害医療対策本部では保健師を派遣し、対応にあたった。

保健師による聞き取り

災害医療対策本部と
連携し、受診へ繋げた



訓練の振り返り

- MCA無線は誰でも使えるよう訓練が必要だと感じた。また、ゆっくり話しても操作をしながらメモを取るのは難しいため、2人1組で対応にあたるといい。
- 訓練をとおり初めて災害医療対策本部の全体像を理解した。今後はなるべく多くの職員を対象に経験できると良いと思う。
- 情報を記録する係には災害医療対策本部全ての情報が集まることが理解できた。今後は誰に向けて記載し、どのレベルで内容を書き写すべきかルール化を進めてほしい。
- 今回のように、災害時に関連する機関を巻き込み情報連携ができると、実災害時に繋がる訓練となると思う。

③災害医療対策本部運営訓練

- * 日時 令和6年1月18日（木）
午後1時30分～2時30分
- * 場所 船橋市保健福祉センター
- * 参加者 医師会、歯科医師会、薬剤師会、
千葉県柔道整復師会
船橋市職員（保健所、危機管理課、市立医療
センター等）

Ⅱ 会議等の開催

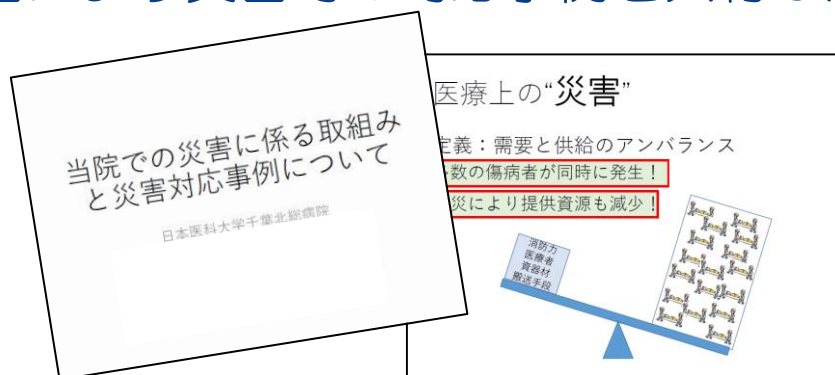
①災害医療協力病院及び保健所意見交換会

- * 目的 災害医療協力病院間及び保健所とのネットワークづくり、連携の強化
- * 日時 令和5年6月29日（木）午後6時～
- * 場所 船橋市保健福祉センター（オンライン開催）
- * 参加者
 - ・ 災害医療協力病院 災害医療担当者
 - ・ 災害医療コーディネーター（船橋市医師会）
 - ・ 日本医科大学千葉北総病院 災害派遣医療チーム隊員（DMAT）
 - ・ 保健所

意見交換会の内容

1 災害医療に関する講話

日本医科大学千葉北総病院 災害派遣医療チーム（DMAT）隊員からの講話により災害時の対応事例を共有した。



（講演資料抜粋）

2 災害医療協力病院及び保健所の意見交換

3 令和5年度の訓練計画について

②地域災害医療対策会議作業部会の開催

- * 日時 令和5年 7月14日（金）午後7時～8時
令和5年12月21日（木）午後7時～8時
 - * 場所 船橋市保健福祉センター（オンライン開催）
 - * 参加者
 - ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会
 - ・ 保健所
 - * 主な内容
 - ・ 医療提供体制及び病院前救護所訓練について
 - ・ 災害医療対策本部運営に関わるマニュアル（案）
- ほか

③船橋市地域災害医療対策会議の開催

- * 日時 令和6年2月8日（木）午後1時30分～3時（予定）
- * 場所 船橋市保健福祉センター
3階 歯科健診室、保健学習室
- * 参加者
 - 医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、自治会連合協議会、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、助産師会、警察、陸上自衛隊、消防団、医療センター
 - 保健所
- * 内容
 - 令和5年度の活動実績
 - 令和6年度の取り組みについて

今後の取り組み

いつ発生するかわからない災害に備えるために、災害医療関係者が各々の役割や取るべき行動を理解し、具体的な行動をすることができる体制を整える。

以上の目的を達成するため

- 課題を整理し、令和6年度から2巡目の病院前救護所設置・運営訓練を実施する
- 「船橋市の災害医療対策（ハンドブック）」等を充実させるとともに、より被災想定に負荷をかけた実践的な訓練を実施していく。

Ⅱ 船橋市衛生試験所について

地方衛生研究所全国協議会加入後の主な実績について

健康危機対策課

1. 船橋市保健所（船橋市衛生試験所）

令和3年5月、船橋市保健所（健康危機対策課検査係）は、船橋市衛生試験所として地方衛生研究所全国協議会へ加入した。



国立感染症研究所等からの感染症の最新情報が、直接、入手可能となり、新たな感染症が起こった際に、県等に準じた対応が可能となった。

なお、法制度においても、令和5年4月1日付で地域保健法の改正があり、中核市は、専門的な知識及び技術を必要とする試験検査等を行うために、必要な体制整備等の措置を講ずることとされた。

船橋市衛生試験所として①

目的

- ① 感染症や食中毒等の健康危機対策
 - ② 日頃の地域保健対策
- ⇒上記の対策を効果的に推進し、公衆衛生の向上を図る。

取り組み

- 関係機関と緊密な連携の下に、下記4項目を実施
- ① 調査研究 ② 試験検査 ③ 研修
 - ④ 地域保健に関する情報の収集・整理・活用
- ⇒市民の健康維持、増進につなげる。

船橋市衛生試験所として②

取り組み4項目について

機能	主な内容
①調査研究	<ul style="list-style-type: none">・試験検査能力や精度の向上に資する調査研究
②試験検査	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症のように急速に地域で拡大する感染症や食中毒等の試験及び検査・健康危機の際に初期の検査を担う公的検査体制
③研修	<ul style="list-style-type: none">・衛生試験所職員の資質向上のための研修受講・地域保健に係る業務に携わる人材育成のための研修指導
④地域保健に関する情報の収集・整理・活用	<ul style="list-style-type: none">・地域保健に関する情報収集、整理、保健所業務での活用

地方衛生研究所全国協議会

地方衛生研究所

地域における科学的かつ技術的な中核機関として、その専門性を活用した地域保健に関する総合的な調査研究等を行う。

地方衛生研究所全国協議会

全ての都道府県及び政令市、一部の特別区及び中核市が設置する地方衛生研究所（全85機関）が加入し、密な連携を図る。

中核市の加入割合

中核市	左のうち、地方衛生研究所 全国協議会加入市	加入割合
62	14	22.6%

2. 主な取り組み等

令和5年度

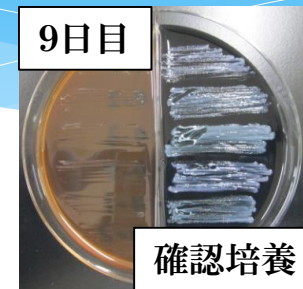
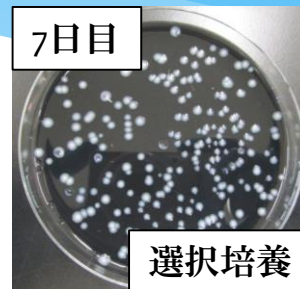
①調査研究	・「給湯系統レジオネラ属菌汚染事例について」千葉県公衆衛生学会にて発表
②試験検査	・微生物学的検査・臨床検査・食品衛生検査・環境衛生検査 ・新たに導入した検査
③研修	・国立感染症研究所等が主催する研修を積極的に受講する
④地域保健に関する情報の収集・整理・活用	インフルエンザ、新型コロナ等における感染者数等の解析

2. 主な取り組み等

①調査研究

給湯系統レジオネラ属菌汚染事例について

従来の検査手順



培養開始

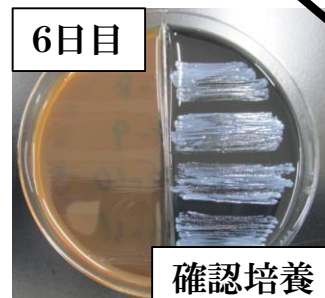
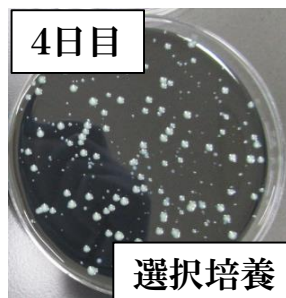
0日目

7日目

9日目

定量検査結果
を報告

船橋市の検査手順



陽性検体についての定性検査結果を、従来より3日早く報告した。
→早期の介入と対策が行われた。

令和5年度
千葉県公衆衛生
学会発表

2. 主な取り組み等

②試験検査

令和5年度

新たに導入した検査
ウイルス検査の強化

名称	件数
麻疹・風疹	8件
エムポックス	2件
アデノウイルス（小児肝炎原因疑い）	1件

令和5年11月末現在

国立感染症研究所から試薬供与や技術的助言を得て導入した。
⇒市で検査することにより、迅速な結果判明、対応が可能となる。

2. 主な取り組み等

③研修

令和5年度 主な研修受講実績

目的		内容	受講者数	
感染症に係る検査	食品衛生に係る検査	薬剤耐性菌総論・検査法、 レジオネラ属菌検査法	2	感染症
		感染症・食中毒対策、 疫学、 ウイルス検査総論 等	4	感染症 及び 食品衛生
		食品化学検査	1	食品衛生

※主催：国立感染症研究所等

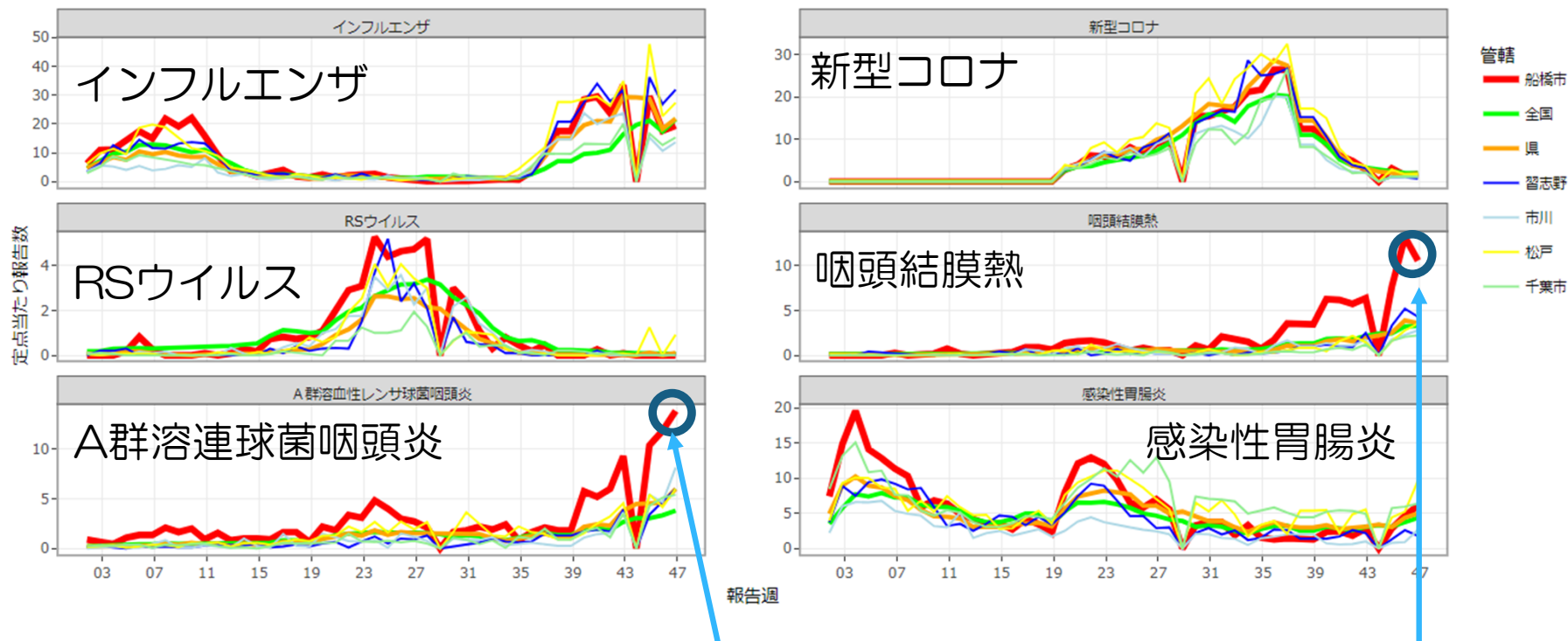
令和5年11月末現在

2. 主な取り組み等

④地域保健に関する情報の収集・整理・活用

インフルエンザ、新型コロナ等における感染者数等の解析
～他自治体との比較して～

統計ソフト「アール」を用いて解析している



船橋市において、第47週（11/20～11/26）に全国や他自治体と比較し増加傾向がみられる。

3. 中長期的な目標

より一層の検査技術等の向上を目指し、地域保健対策の推進に貢献する。

①調査研究	・感染症検査結果等に関する研究を行い、学会で年1回以上、発表する。
②試験検査	・新興再興感染症検査を国立感染症研究所の助言に基づき実施する。
③研修	・国等の研修等に積極的に参加し最新の情報を得て、医療等の関係機関に対する研修や助言につなげる。
④地域保健に関する情報の収集・整理・活用	<ul style="list-style-type: none">・感染症等の情報を収集・整理し、保健所業務に活用する。・感染症等の情報を収集・整理し、医療等の関係機関及び住民等へ、わかりやすく情報提供する。